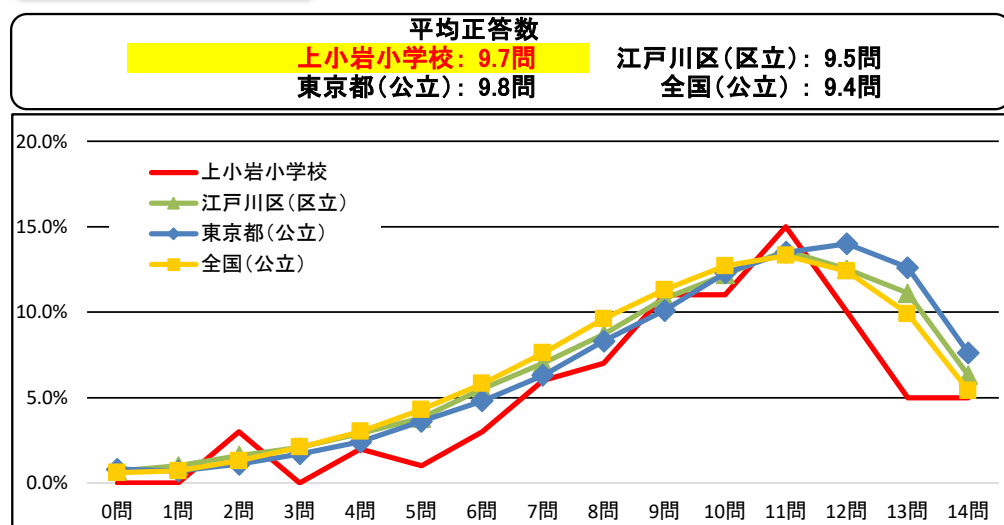


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 上小岩小学校

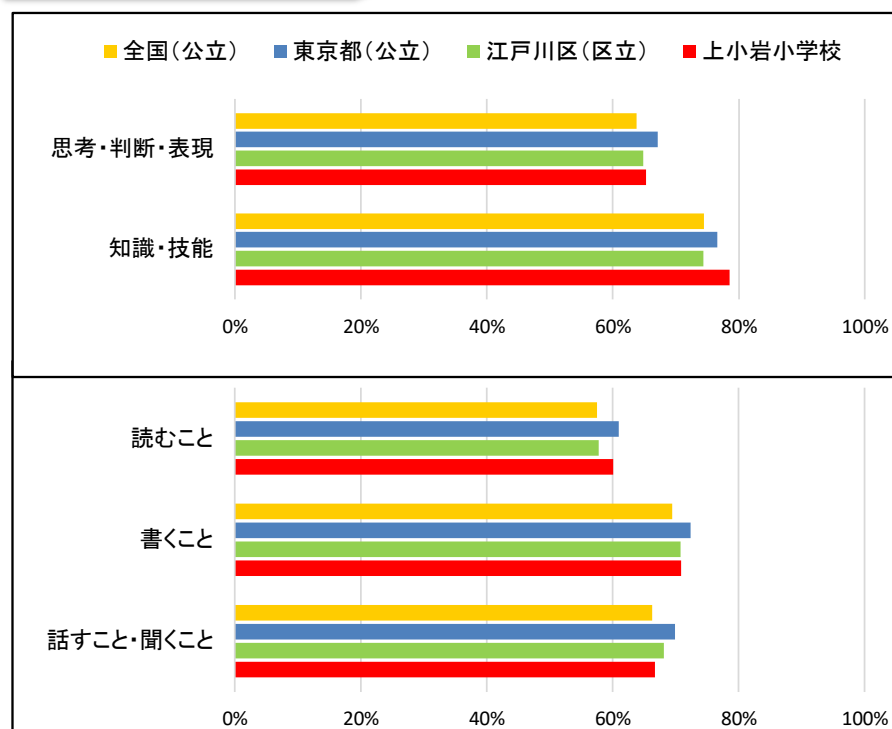
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

上小岩小学校	69%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	-1.0

「領域別」の結果

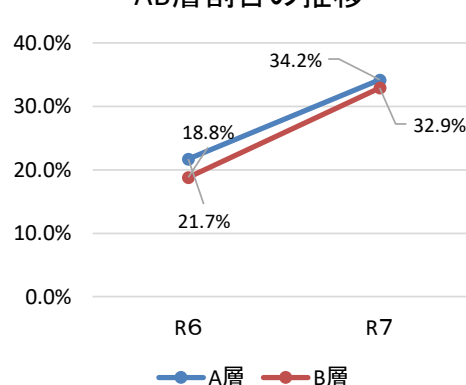


四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

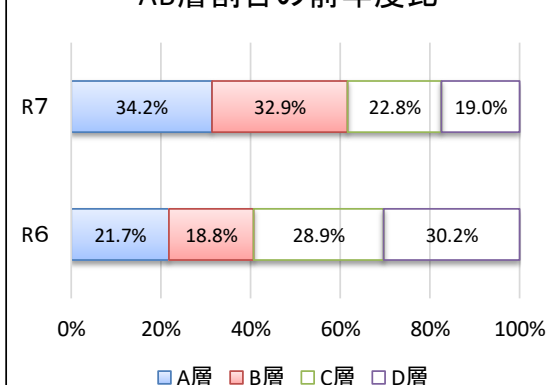
国 語	上位 ← 下位			
	A層 12～14問	B層 10～11問	C層 8～9問	D層 0～7問
上小岩小学校	34.2%	32.9%	22.8%	19.0%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

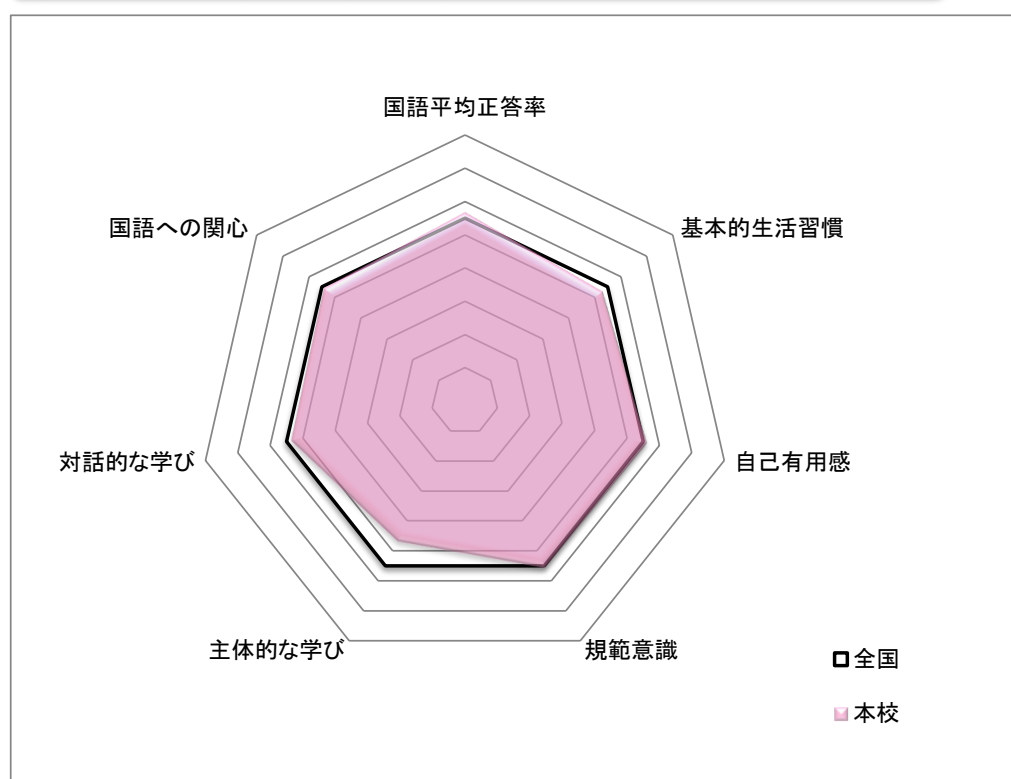
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

- ・「国語平均正答率」をはじめ、全般的に全国を上回っている。
- ・「主体的な学び」については数値上全国平均を下回っているが、授業中は意欲的に学習に取り組む姿が見られる。授業態度や学習規律に関しても概ね整っており、学びに向かう力も身に付いている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・読書への関心は国語の学習意欲につながります。図書館を活用するなどして、親子で本に親しむ機会を作ること一つのやり方です。

《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- ・昨年度に比べるとA層B層ともに10%以上も大きく伸び、AB層で7割に迫るほどになった。D層が10%以上も減少したことも際立つ。
- ・AB層は、全国や都の平均と比べても大きく上回っている。
- ・「よむYOMUワークシート」を用いた指導で読解力を育成するなど、国語科における指導の積み重ねの結果が見られる。

《学校の取組》

- ・教員の指導力向上
- 【体系的な校内研修の実施】学校の研究主題に基づいた研修や、若手教員向け、中堅教員向けなど、経験に応じた研修プログラムを企画・実施。
- 【メンター制度・OJT】経験豊富なベテラン教員が若手教員の指導役(メンター)となり、日常業務や授業実践を通じて具体的な指導・助言を行う。
- 【情報共有と協働】教職員がアイデアや指導方法、教材などを積極的に共有できる文化を醸成する。校務分掌ごとに目標を設定し、全教員で達成度を共有・評価する仕組みも有効である。
- 【業務改善と環境整備】過度な業務負担を軽減し、教員が授業準備や自己研鑽により多くの時間を割けるようにする(例:ICTを活用した業務効率化など)。

・基礎学力の保障

- 「読み・書き・計算」といった基本的な知識・技能に加え、それらを活用して問題解決する力や、主体的に学習に取り組む態度まで含めた「確かな学力」を培う。
- 【個別最適な学びの実現】児童の特性や学習進度に応じた指導方法・教材を提供し、一人ひとりの理解を確実にする。支援が必要な子どもにはより重点的な指導を行う。
- 【言語活動の充実】知識を活用して他者に説明したり、考えを共有したりする活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を養う。

・学習習慣の確立

- 【学習のねらいの明確化】単元ごと、あるいは授業ごとに『今日の目標(ねらい)』を児童に分かりやすく提示することで、学習への意識を高める。
- 【「読み・書き・計算」の徹底】基礎・基本の確実な定着を図るため、反復練習や習熟度別学習などを取り入れる。
- 【具体的な学習方法の指導】ノートの取り方、調べ物の方法、調べたことのまとめ方など、具体的な「学習の仕方」を授業の中で指導する。これは家庭学習にも応用できる力となる。

・AB層の育成

- アクティブ・ラーニングを意識した授業を取り入れる。話し合い活動やグループワーク、対話的な活動などを通して主体的な参加を促していく。「わかる」「できる」という達成感を積み重ねていく。